

2019年国連責任投資原則（PRI）年次評価について  
～最高評価「A+」を4分野で獲得～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、国連責任投資原則（以下「PRI」）による2019年の年次評価が判明しましたので、お知らせします。

当社は、2018年の活動を対象とした2019年のPRI年次評価において、「戦略とガバナンス」、「上場株式の投資プロセス」、「上場株式のアクティブオーナーシップ」、「不動産投資」の各分野で、最高評価の「A+」を獲得したことをはじめ、全ての分野においてPRI署名機関中央値を上回る評価を獲得しました。

【2019年 PRI 年次評価詳細について】

分野	具体内容	当社評価	署名機関中央値
戦略とガバナンス	責任投資に関する全体の方針や目的、目標及びガバナンス	A+	A
上場株式の投資プロセス	上場株式の投資プロセスにおけるESG要素の組入	A+	B
上場株式のアクティブオーナーシップ	上場株式における企業との対話や議決権行使	A+	B
債券投資※	債券の投資プロセスにおけるESG要素の組入	A	B
不動産投資	不動産に関する責任投資の方針、投資プロセスやモニタリング	A+	B

※債券投資は、国債等・社債（金融）・社債（非金融）の平均を表示

当社はこれまでも、生命保険事業の使命や公共性をふまえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していくことにも留意しながら資産運用に取り組んでおり、2017年3月のPRI署名以降、特にESG投融資を強化してきました。

今後も、社会公共性・投資収益性をふまえ、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) とは>

PRI は、持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が環境 (E: Environment)、社会 (S: Social)、ガバナンス (G: Governance) の課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する原則です。署名機関数は、世界で 2,517 機関、うち日本で 74 機関 (2019 年 7 月末時点) となっています。

<PRI 年次評価について>

PRI の年次評価は、PRI 署名機関を対象に、PRI が責任投資の実施状況等を評価するものです。PRI 署名機関は、毎年、各分野の取組状況に関する報告書を PRI へ提出する義務があり、その報告書を元に、PRI が署名機関を評価します。具体的には分野毎の得点率に応じて、6 段階 (A+, A, B, C, D, E) で評価が付与され、「A+」が最高評価となっています。

(参考) PRI 年次評価における得点率と評価

得点率	0%	0-25%	25-50%	50-75%	75-95%	95%超
評価	E	D	C	B	A	A+

以 上